

美々津中学校便り

新入生25名が入学しました・・



学校長の式辞より

新入生の皆さん、それぞれが中学校生活にあこがれや希望を持つと共に目標を持って入学されたことだと思います。目標とは、何を目指すかです。皆さんが学校生活を楽しく幸せに過ごすためには、自分の学校生活を感動させる物語として、3年かけて描きあげる作家になることです。どうしたら感動する物語が描けるのか。その魔法を三つお話しします。

一つ目は、「プラス思考」です。これから、皆さんには、良いことや楽しいことばかりではなく、嫌なことや困ったこと悩んだりすることが必ず起こります。これを、避けて通ることは絶対にできません。目の前に起こる全ての出来事は、自分にとって必ず意味がある。そして、自分に何かを教えてくれていると思うようになれば、全ての出来事が大切な宝物になっていきます。だから、絶対に乗り越えられないことはないのです。乗り越えられない人には、試練は与えられません。だから「プラス思考」で考えることができるようになります。想いがぶれない限り、目の前の壁は必ず扉に変わります。

二つ目は、「勉強好き」になることです。よく何のために勉強するのかということを耳にします。たぶん、勉強は自分のためにすると思っている人が多いと思います。しかし、何かのきっかけで、勉強は自分のためだけにするものでは無いことに気が付きます。そしてそこに気が付くと、勉強好きになるスイッチが間違なく入ります。そのためには、まず、目の前にある課題を全力で取り組むことです。勉強の仕方が分からぬとか何で勉強するんだろうと言っていないで、自分が思ったように学ぶことです。学ぶとは、真似をするところから来た言葉です。後ろに座っている先輩の真似をしたり経験や体験を体で感じたりすることで、勉強好きのスイッチが必ず入ります。

三つ目は、読書家になることです。読書が習慣化すると、「プラス思考」も「勉強好き」も自然に身に付きます。そして、沢山の引き出し、つまり知識を得ることで、自分の宝物が増えています。この宝物が、自分の人生を大きく左右することになります。昨年度も、美々津中学校には全国から本のプレゼントが届きました。信じられないかも知れませんが、全国の伊達直人と名乗る大人の方から本が美々津中学校の生徒のために贈られてきました。今、後ろにいる先輩もたくさんの本を読んでいます。5年前にこの学校に着任したときには、一年間で全校生徒が図書室から借りて読んだ冊数は490冊だったのが、昨年は一年間で、400冊を超えた本が貸し出されました。一人にすると年間55冊、月に直すと約4冊から5冊の本を読んでいることになります。先輩のカバンの中には、いつでも読めるように本が入っています。少しの空いた時間や毎日決めた時間を使って本を読みましょう。忙しい人ほど、本を読むものです。世の中の成功者と言われる人は、必ず読書家になっています。



私たちは今日から始まる中学校生活への期待と不安で胸が一杯です。先生方や先輩方の御指導のもと、勉強はもちろん、生徒会活動や学校行事、部活動に積極的に取り組んでいきます。さて、晴れの舞台に立った私達ですが、まだ、制服にも慣れていないし、本当はすごく緊張しています。でも、何とも言えないワクワクした気分です。何より、中学校という新しい環境や先輩、先生方との出会い、教科担任、寺迫小学校のみなさんと一緒になることなど、楽しみなことがたくさんあります。勉強は小学校のころより難しくなると思うので、

少し不安な気持ちもあると思いますが、一生懸命に頑張りたいです。三年間が長いのか短いのか今の私にはまだ分かりません。でも三年後の卒業式の日に最高の充実した気持ちと、一人でも多く、「親友」と呼べる友達を残せるような中学校生活にしたいと思います。

最後になりますが、先生方、そして先輩方には、温かい御指導を宜しくお願いします。私達新入生は美々津中学校の生徒としての誇りを持ち、実りある中学校生活を送りたいと思います。分からないことばかりですが、中学生として自覚を持ち責任ある行動がとれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

新入生代表 前田 茜

コロナ禍の中でも十分な対策を取りながら実施しました。



【避難訓練(地震)】4月14日(水)

毎年、新入生が入学してすぐに、地震による津波発生の避難訓練を実施しています。本校は、南海トラフの大地震が発生したときには、津波に巻き込まれてしまう環境にあります。そこで、自分の命は自分で守るために、避難経路や場所の確認をしています。体育館では防災士の方に講話をいただきました。

【対面式・オリエンテーション】4月15日(木)

生徒会が主催となって学校の事を新入生に知つてもらう校内行事がありました。生徒会の組織や各専門委員会からの説明、部活動紹介など、生徒が工夫しながら一生懸命に熱く語り、アピールしていました。1年生もまだまだ、分からぬ事ばかりの中学校生活です。先輩の背中を見て、分からぬ事は聞いて、充実した学校生活にしていきましょう。



TOKYO2020聖火サポートランナー **是則佑衣**さん(3年)
4月25日(日)大御神社で走りました。

「初めての経験で多少の戸惑いもありましたが、予想以上に盛り上がってとても楽しかったです。また、こんな機会があったら応募したいと思います。」



1年生が入学して、一ヶ月が過ぎました。コロナ禍の影響を受け、家庭訪問や参観日等が中止になり、計画通りのことが実施できない状況にありますが、それでも、子ども達は落ち着き、全校生徒77名でスタートすることができました。まだまだ、コロナの影響はありそうですが、感染防止をしながら、出来ることを精一杯取り組んで活きます。どうぞ今年度も子ども達への応援をお願いします。